

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第1ステージ】

取組年度	令和4年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目 標	就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）を中心に関係機関が連携し、職業的自立支援につなげることを目標とする。	
	K P I 項目	目標値
第1ステージ	サポステの支援により就労等につながった割合	35%
	サポステレベルが上がった方のレベル数	300レベル

【令和4年度取組状況】

長崎若者サポートステーションは、厚生労働省の事業で、15歳から49歳までの若者の就労支援を行っている。国の事業であるが、地域の実情に応じた箇所については、地方自治体との協力のもと行うことになっており、長崎県や五島市の協力のもと、氷河期世代の方を対象とした各地への巡回相談や、グループワーク等のプログラムの実施、サポステ未登録者も含めたセミナーの実施等を事業として行わせていただいている。

長崎サポステの氷河期世代の支援として  
巡回相談

ハローワーク諫早 月3回、ハローワーク大村 月4回、ハローワーク島原 月1回  
グループワーク等のプログラム

実施回数79件、参加者数192人（累計）

セミナー

2023年2月「今すぐ使える！氷河期就活テクニック！」実施

氷河期世代で就職難を経験した後、会社を立ち上げたり、人事を経験したりした方をパネラーにお呼びし、どういう人材がほしいか、面接でどういうところに気をつければいいか等、型にはまらない形でトークをしていただいた。

セミナー実施による新規登録者 2名

K P I 項目	実績累計	進捗率
サポステの支援により就労等につながった割合	31.2%	89.1%
サポステレベルが上がった方のレベル数	108レベル	36.0%

令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
31.0%	31.0%	31.3%
25レベル	37レベル	46レベル

## 「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第2ステージ】

取組年度	令和5年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目 標	第1ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする	
	<b>K P I 項目</b>	<b>目標値</b>
第2ステージ	サポステ等による職場体験等先の確保数	30件
	職場体験等の実施件数	16件
	サポステとハローワークとの連携体制の強化（意見交換等の実施回数）	各年度4回 (長崎・佐世保で各年度2回)

## 【令和5年度取組概要等】

第2ステージとして、職場体験やハローワークとの密な連携を行い、利用者にとって負担なく就労に繋げていきたい。

長崎サポステ、五島サポステ、佐世保サポステでは、職場体験先を広く確保し、多様なニーズに応えるため、受託団体の心澄と、各地の社会福祉協議会等と、「職場体験ネットワーク協議会」を立ち上げ、職場体験先の情報共有、氷河期世代の相談者が多いと思われる、生活困窮者自立支援事業との相互連携を図っている。

令和5年5月時点で職場体験先企業は46件にのぼり、昨年度は累計37名の利用者（氷河期世代以外も含む）が体験に参加した。利用者にとって、初めての仕事であったり、久しぶりの仕事であることが多いので、企業様には人手不足解消というよりは、社会貢献として受け入れをしていただいているが、就労につながったケースもある。

第1ステージで就労意欲の向上した氷河期世代の利用者にも体験を活用して就労に繋げていきたい。

また、巡回相談で培ったネットワークを活かして、ハローワークと意見交換、相互連携を行い、配慮が必要な利用者の情報をしっかりと伝えて途切れることなくハローワークに繋げていきたい。

K P I 項目	実績累計	進捗率
サポステ等による職場体験等先の確保数	9件	30.0%
職場体験等の実施件数	10件	62.5%
サポステとハローワークとの連携体制の強化（意見交換等の実施回数）	0回	0.0%

※令和5年5月末時点の実績